

## 1 学校教育目標

みんなが幸せな学校 ～自主・自律・共生をめざして～

## 2 めざす姿

## (1) めざす学校像

- ① 全ての子供に居場所がある学校
  - ・好きな友達がいる
  - ・理解してくれる大人がいる
  - ・好きな場所・時間がある
- ② 保護者が安心する学校
  - ・子供同士の間人間関係が良い
  - ・先生が子供を理解している
  - ・必要で正しい情報が伝わってくる
- ③ 教職員が働きがいを感じる学校
  - ・アイデアを生かしチャレンジできる
  - ・協力体制ができている
  - ・成果を認め合える
- ④ 地域が誇りに思う学校
  - ・子供達が生き生きと学校に通っている
  - ・必要で正しい情報が伝わってくる
  - ・学校がコミュニティの核となっている

## (2) めざす子供像

- ① 自分で考え行動する子（自主）
  - ・動機付けを工夫する
  - ・様々な体験（経験）をさせる
  - ・見通し（目的と方法）を明らかにする
- ② 自分の心と体をコントロールできる子（自律）
  - ・自己肯定感をもたせる
  - ・生活のリズムを整える
  - ・感情コントロールの力・SOS発信力を身に付ける
- ③ 自分と他人を大切にする子（共生）
  - ・ルールや約束を守れるようにする
  - ・いじめを許さない
  - ・協力し、支えあう学習活動を設定する

### (3) めざす教職員像

- ① 子供を主役にできる教職員
  - ・子供の可能性を信じる
  - ・子供に任せる
  - ・指導と評価を一体でとらえる
- ② 謙虚に学び続ける教職員
  - ・人の意見をしっかり聞く
  - ・人に相談できる
  - ・課題意識をもち研修に励む
- ③ 仲間・保護者・地域と協働できる教職員
  - ・目標の共有化をする
  - ・組織で取り組む
  - ・敬意と感謝を忘れない
- ④ 仕事の効率化をめざし自分を豊かにできる教職員
  - ・計画性をもって仕事をする
  - ・優先順位をつけて仕事をする
  - ・ワークライフバランスを大切にする

### 3 経営の詳細（下線は重点項目）

#### (1) 確かな学力

- 学習活動のねらいを明確にした授業の実践を推進する。（発問・板書・ノート指導）
- 見方・考え方を働かせながら思考力・判断力・表現力等を育む授業の実践を推進する。
- 指導と評価の一体化を意識した授業の実践を推進する。
- 協働的な学習支援が行える体制づくりを推進する。
- 学年の実態に合わせ、教科担任制を取り入れ、学年全体で学力の向上を図る。
- 朝学習を計画的に行い、基礎・基本となる学力を育む。
- 学習習慣の定着を図り、家庭学習を充実させる。
- 授業の中で、学び合い、高め合う場面を工夫することで、見通しをもって論理的に考え、自分の考えをしっかりと表現できる授業づくりに取り組む。
- 個に応じた補充的・発展的な学習等により、45分を有効に活用できるようにする。
- 社会奉仕体験や自然体験など体験活動の充実に努める。
- I C T機器、デジタル教材の積極的な活用を図り、わかる授業づくりの構築とプログラミング教育の推進に努める。
- ユニバーサルデザインの視点を生かした授業づくりや環境づくりを推進する。
- 探究的な学習に子供たちが主体的・協働的に取り組めるよう学習内容を工夫し、積極的に課題解決をしようとする態度を養う。

#### (2) 豊かな心

- 教育活動全体をとおして人間関係づくりを重視した心の教育を推進する。

- 気持ちのよいあいさつができるようにする。
- やさしい心もち、やさしい言葉で話せる児童の育成に努める。
- 校内の生活環境、言語環境を整える。(掲示物・清掃・言葉遣いなど)
- いじめや不登校のない学校づくりと、発生した場合の早期発見・早期の組織的対応を心がける。
- 生徒指導の機能を生かした授業を推進する。
- 生徒指導体制の強化と基本的な学習・生活習慣の定着を図る。
- 様々な活躍の場を設定し、達成感や自己有用感をもてるようにする。
- 教育相談機能の向上と特別支援教育を推進する。
- 道徳科の時間を充実させ、道徳性の育成に努める。
- 人権教育の推進を図る。
- 特別活動の各内容をふまえ、自主性・社会性の育成と伸長に努める。
- キャリア教育の充実を図る。
- 読書教育の推進を図る。
- 幸小のきまりや幸小スタンダードの定着を図る。
- 縦割り活動による異学年交流の充実を図る。

### (3) 健やかな体

- 新体力テストの分析をもとに、改善策を明確化し、実践していく。
- 体育科の授業等の充実と外遊びの奨励により、運動好きな子供たちを育てる。
- 体育科の学習において、進級・学習カードを活用し、運動技能の向上を図る。
- 生活リズムの確立を図る。(げんきっ子カードの活用)
- 安全教育の充実を図る。
- 「自分の命は自分で守る」を意識づける。
- 食育の充実を図る。

### (4) 開かれた学校

- 学校と地域・家庭との相互協力体制を確立する。
  - ・学校運営協議会(コミュニティ・スクール)との連携
  - ・防災、防犯、安全での連携
- 地域学校協働活動推進員を通して地域人材を積極的に活用する。(行事、出前授業等)
- スキットメール、各種だより、ホームページを利用し積極的に情報の発信・受信を行う。

### (5) 中学校ブロック連携

- 情報の共有化を図る。
- 幼・保・小・中の連携・協働により、学びの連続性を強化する。
- 中学校ブロックで共に育てる取り組みを実施する。
  - (オレンジリボンキャンペーン など)